



### めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校  
みんなが安心できる居心地のいい学校  
開かれた学校(学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校)

めざす子ども像

- 思いやりのある子
- 粘り強くたくましい子
- 自ら考え行動する子

いつもここに (O) (ハ) (タ) (ニ) のびのび 野畑 合言葉 (ホ) バリアフリーで 笑顔がいっぱい (チ) 体験 楽しい 学びたい (ト) 計画立てて 相談 確認

## 6月15日(月) やっと学級開きです!!



分散ではなくて、全校が一斉に登校した6月15日(月)の朝、学校全体になんとなく緊張した空気が流れていました。8時30分に健康観察が始まり、みんな改めてクラスメイトの顔を確認していました。

クラス全員がそろって、嬉しそうな笑顔があふれている子。先週までの倍の人数と毎日の登校に戸惑っている子。みんながそろったことがうれしくて先週までできていた感染拡大防止のルールを忘れてはしゃいでしまっている子。一人ひとり違う表情を見せていました。新しい学年の本格的な授業と新しいクラスメイトとの人間関係、一週間すごして、どの子もいろいろな意味で疲れていることと思います。しんどい時は無理をせず、ゆっくりと学校生活のリズムを取り戻して行ってほしいと思います。

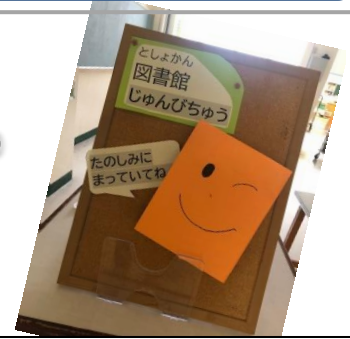
### お子様の健康状態の把握について

- 毎朝、保護者確認のもと検温、健康観察をお願いします。健康観察カードに記入の上、毎日持たせてください。
- お子様に体調不良(発熱、咳等の風邪症状、息苦しさ、強いだるさ、のどの痛み、味覚・臭覚異常等)がある場合、欠席ではなく、出席停止扱いとなります。無理をせず症状がなくなるまで、自宅でゆっくり休養してください。
- ◎同居の方に症状がある場合も(お子様に症状が見られなくても)、同様です。出席停止扱いとなります。



## 来週から図書館での授業が始まります。

感染予防のため昨年までとは、貸し出しのルールや図書館の使い方が変更になっているところがあります。下のように、教室でオリエンテーションしてから図書館に向かいます。



ようこそ! ときどき・わくわく・はっけんいっぱい  
こちよい のばキッズ図書館 ハ

かしたしへんこうします。  
ひとり1日に2さつまで  
きげん・2しゅうかん  
リクエストはおやすみ

学校図書館 教室でのオリエンテーションのおねがい

- ◇「図書の日」までに児童用しおりを配布し、教室で内容をお知らせください。
- ◇全部は読まなくて大丈夫です。以下の大事な部分のみお願いします。

図書館司書がわかりました! 中山さやかです。 休み時間は、当分、閉館です。

感染対策で、貸出冊数・期間がかわっています!

持ち物 ☆図書館バック(オリエンテーションプリント入れておく)  
☆返す本を忘れずに!

感染予防:入館・貸出のルール

- ☆まず、返す本をろうかの「返す本コーナー」に置く
- ⇒1回目の手洗い
- ⇒貸出(個人カードは使わない)
- 【ひとり1度に2冊まで2週間】
- ⇒2回目の手洗い

ポイント

- ① おたがいに読みたい本がすぐに見つかるように「本はもとの場所へ」
- ⇒場所がわからない本は「本のまいごセンター※」(ブックトラック)へ←**新設**
- 本との出会いをふやすために「かえす日」を守りましょう。
- ☆「本や図書館のことで知りたいこと・困ったこと」は司書までどうぞ

みんなでもちたいせつな **3つのやくそく**

①読みたい本がすぐに見つかるようにきょうりよくしよう

★本の分類をまもろう (本をもとの場所になおそう)

ぶんるいは 本をみつけやすくするためのくふう。  
としょかんでは、いっしょにぶんぎょうしよう。

ないようのにている本ごとのグループにわけてならべています。

グループごとに0-9のすうじをつけています。

★かえす日をまもろう (ひとり2さつ・きげんは2しゅうかん)

ずっとかえてこない本は、ほかのひとがよめません…。  
おたがいに、たくさん本のとであうチャンスをおたがいにふやそう!

だれが、どんな本をえらんでもOK

じぶんのよみたい本を、おもいっきりよう!

ともだちの「よみたい」「しりたいたい」きもちも、たいせつに。

②こちよく読めるよう、本をたいせつに

本はみんなのたからもの。いたんでいたら、しらせてね。

③「読みたい」「知りたい」気持ちを大切に

ひとりひとり、ちがうにんげんだから、ひとりひとりの「よみたい」「しりたいたい」きもちも、ちがいます。  
「だれかにかかわれないかな?」なんて、しんばいせずにじぶんのよみたい本を、えらびましょう。

ウイルスかんせんよぼうのため

- ①かえす本は ろうかの「かえす本」のコーナーにおきます。(コーナーの本にはさわらないこと)
- ②AはんとBはんにわかれず。あしがたのうえに ならんでね。
- ③Aはんが 手をあらって としょかんへはいる。Bはんは 手をあらって まつ。  
☆Aはんが かりたら、Bはんと ころたいする。
- ④なるべく あちこち さわらずに 本を えらぼう。  
かりかた
- ⑤かりの本のバーコードをうえにしてもとう。
- ⑥カウンターで「しゅつせきばんごう」が「なまえ」をいう。
- ⑦ひとり1日に 2さつまで 2週間 です。
- ⑧としょかんからでたら 手あらい。  
☆ウイルスがしんばいしなひとは、ほんのひょうしを おうちでふいてね。



# 大阪府教育庁による学校の教育活動を再開するにあたって「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」に示されている各教科等での対策例

小中学校課

## 第3章 具体的な活動場面ごとの感染症予防対策について

<凡例> ★★★…感染症対策を講じてもなお感染のリスクが特に高い学習活動  
 ★★…感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動  
 ★…リスクの低い活動 ※1 各段階の具体例は下部に例示

### 1. 各教科等について

	「★★★」の活動	「★★」の活動	「★」の活動
レベル3地域	実施しない	実施しない	十分な感染対策を行った上で実施
レベル2地域	実施について慎重に検討	可能な限り感染対策を行った上で リスクの低い活動から徐々に実施する	
レベル1地域	下表※1を参照して可能な範囲で実施する		

今の大阪は、  
レベル1地域です。

### ※1 各段階の活動場面の具体例及び改善策や感染症対策について

	<★★★> 感染症対策を講じてもなお 感染リスクが特に高い学習活動	<★★> 感染症対策を講じてもなお 感染リスクが高い学習活動	改善策や感染症対策 <★> リスクが低い学習活動へ
各教科 共通	●児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等 ●近距離で一斉に大きな声で話す活動		◎一定の距離を保ち、同じ方向を向いて活動する ◎音量を落として、静かに話す（静かに聴く） ◎意見を言う際は、ハンドサインなどで静かに手を挙げる
理科	特記事項なし	●児童生徒が近距離で活動する実験や観察 ・理科室の4人1組の机で植物の作りなどの観察をしたり、実験したりして、その場で声にだして意見交流をする活動	◎実験器具の使用前後の消毒や、実験前後の手洗いを徹底する ◎植物の観察などは、できるだけ屋外で実施する ◎教室で全員が前を向いた状況で、動画や写真などを活用して観察し、意見交流を行う
音楽	●室内で児童生徒が近距離で行う合唱や、リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏		◎楽器の使用前後の消毒や、授業前後の手洗い・うがいを徹底する ◎換気を徹底した状態の広い空間で、身体的距離を確保して合唱する ◎打楽器や弦楽器などを使って、発声や呼吸を伴わない演奏やリズム学習などを行う
図工・ 美術	●児童生徒が近距離で活動する共同制作 ・同じ材料や用具を消毒しない状態で、子ども同士が頻りに共有するような活動	●児童生徒が近距離で活動する鑑賞の活動 ・グループで1つの作品に近づいて、声を出して意見交流する活動	◎はさみやのりなどの用具は、個人のものを持参して使用する ◎作品画像をプロジェクターやモニターに拡大して映し、全員が前を向いた状態で意見交流を行う
家庭科	●家庭科室の4人～6人1組の調理台で活動する調理実習		◎用具の使用前後の消毒や、実習前後の手洗いや手指消毒を徹底する ◎役割を分担し、身体的距離をそれぞれ保ち活動する
外国語 外国語活動	●児童生徒が近距離でペアやグループとなってコミュニケーションをとる活動	●ハイタッチなどの身体的接触	◎教室を自由に歩き来してコミュニケーションをとる活動は控え、自席で立ったまま身体的な距離を確保してペアワークをする
体育	●児童生徒が密集する運動 ・サッカーやバスケットボール等の接触する可能性の高い対人プレー ・隊列を組んでのランニング ●近距離で組み合ったり接触したりする運動 ・ペア等で行う準備運動や整理運動 ・柔道の対人稽古 ・複数人で接触を伴い表現する運動		◎器具や用具の消毒や授業前後の手洗いを徹底する ◎ルールを工夫し、接触が少なくなるようにしてサッカーやバスケットボールを行う ◎ランニング時には、身体的な距離を確保する ◎掛け声や競技中の声援などの発声は可能な限り控える  体育の授業についての詳細は、資料11を参照すること ※水泳を含む

\* 図書館について～感染拡大を防ぐ対応を図った上で、貸出機能は維持します。

本校では、大阪府教育庁から出ている学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに示されている感染症予防対策（右記・詳しくは大阪府教育庁のホームページに掲載されています）やそれに沿って作成された豊中市のマニュアルをもとに、各教科・給食・休み時間などの感染防止対策を本校の実態（児童数・施設設備面等）にあわせて検討し、日々の教育活動に取り組んでいます。はじめてのこの連続なので、よりよい方法を模索しながらの毎日ですが、子どもたちの様子から気になる点などありましたら（ご心配な点のご指摘も含めて）遠慮なくご助言ください。保護者のみなさまのご支援とご協力が、何よりの力となります。よろしくお願いいたします。

## 音楽の授業の工夫

合唱・リコーダー・鍵盤ハーモニカ、小学校の音楽で欠かすことのできないこの3つが感染のリスクが高いということで、どうすれば楽しい音楽の授業ができるのか考えて考えて、次のようなくふうをして3年生以上の音楽室の授業が再開しました。



① 音楽の時間は、英語ルームと音楽室2部屋を使い、「密」になる状態を避ける。英語ルームでは、音楽を聴いたり楽譜を書いたり声を出さない学習をする。音楽室は、楽器の部屋として、下の写真のように、オルガン・もっきん・てっきん・キーボード・ドラムなどを向かい合わないよう配置し、人数を制限して楽器の練習をする。楽器をさわる前後は必ず手洗いをする。授業中は、窓を開けて換気をする。



② リコーダーの学習は、廊下の水道の近くで教師が見守る中、6人未満の児童で間隔をあけて音の出し方の指導をする。つばがリコーダーにたまらないように水道でこまめに洗う。繰り返し練習は、家庭学習とする。

③ 歌唱指導では、まだ大きな声で歌うのは心配なので、子ども同士の間隔を大きくとってマスクをしたまま口ずさむように歌う。

## 5年生が田植えをしました。

今年は、無理かなと思っていた5年生の米作り。6月16日に無事田植えをすることができました。毎年お世話になっている岸田さんに苗の植え方を教えていただいて、一人一株、ていねいに植えました。大きく育ちますように。

